

# SINAPIS ニュース

社会活動センター・シナピスは平和を実現する使命に向けて生きる人びとを応援します

No. 59 2021. 4

## “すべてのいのちを守ろう”

— 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind —

2021年正義と平和大阪大会テーマ



【大会ロゴ】

“すべてのいのちを包み込み、一人ひとりのいのちがこぼれおちないように支え守っている手”

「いのち」を表すカラコエの花 花言葉 =「あなたを守る」

カトリック大阪大司教区 社会活動センター

# シナピス



地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス(からし種)です。

イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

06-6942-1784

06-6920-2203

sinapis@osaka.catholic.jp

カトリック正義と平和協議会全国集会 大阪大会 2021.11.22~23

“すべてのいのちを守ろう”



～誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind～

地上でもっとも小さいといわれている種子、それがシナピス（からし種）です。イエスは神の愛がすべての人におよび、互いに尊重し合い、愛し合うように願って平和の種をまき、やがて鳥が巣をつくるほどの大きな木になると約束しました。

# シナピスの風

\* 行事はコロナ感染症の影響で延期または中止になることがあります。  
ご参加の際は連絡先にお問い合わせください。

第136号 2021年4月1日発行



主のご復活、おめでとうございます！

## 4月の祈り

「どうしてあなたがたは徴税人や罪人とともに食べたり飲んだりするのか」(ルカ5・30)  
イエスとその弟子たちに向けられた批判です。  
人を置き去りにするのは、イエスの時代だけではなく  
残念ながら、どの時代とどの社会にも  
根強く存在する悪です。

「互いに愛し合いなさい。

わたしがあなたがたを愛したように」(ヨハネ13・34)

「互いに」とは、

教会共同体、人類家族を意味することばです。

制限がないはずですよ。

どうして、わたしは、わたしたちは、

制限を付けるのでしょうか。

だれもが置き去りにされない社会を築いていくために、

心を入れ替える必要があります。

主よ、わたしたちの回心の歩みを支えてください。

アーメン。



シナピスでは、毎月のお祈りをニュースレターとともにお送りしております。教会で、ご家庭で、日々のお祈りにお使いください。シナピスのホームページからも、ダウンロードしていただけます。

## シナピス工房

春です！お掃除を楽しみましょう



環境にやさしい  
ジュート製たわし

お試し規格 1枚 ¥100

洗面台など、ちょっとした  
スペースで使えるミニサイズ



レギュラーサイズ  
2枚 ¥500



大玉のロザリオ ¥900

祈りのおともやプレゼントにお使いください。

大玉なので高齢の方、病床にある方でも、手指全体で軽く触れるだけで祈ることができます。お見舞い、訪問に重宝されています。

**食糧支援のお願い** コロナ禍で解雇された技能実習生、帰国できずに困っている留学生が増えています。パスタ、パスタソース、インスタントラーメン、米、缶詰など、食べ物のご支援をお願いします。

## オンラインセミナー

### 入管法改正案と日本の難民認定制度を考える 難民と外国人の排除・送還に No !

日時:2021年4月18日(日)13時~15時(ZOOM)

日本の難民・非正規滞在者の状況・入管法改定について

- お話:山岸素子さん(日本カトリック難民移住移動者委員会委員)
- ビデオ視聴:駒井弁護士の講演(改定入管法案の背景・内容)
- 当事者からの証言(デニスさん、クルド人難民)
- 質疑応答
- まとめ:具体的なアクションにつなげるために



申し込み・問い合わせ:



QRコード、もしくはメールにて申し込みをしてください。

[jcarm@cbci.catholic.jp](mailto:jcarm@cbci.catholic.jp) (J-CaRM事務局)

また、一台のパソコンで何名かがご参加の場合は、おおよその人数もお知らせください。

主催:大阪大司教区南地区宣教評議会

協力:日本カトリック難民移住移動者委員会(J-CaRM)

## みんなで参加しよう！！

第41回日本カトリック正義と平和全国集会  
2021大阪大会

### すべてのいのちを守ろう

～誰も置き去りにしない世界に向けて  
No one will be left behind

2021年  
11月22日(月)・23日(火・祝)  
会場 大阪カテドラル聖マリア大聖堂

主催 カトリック大阪大司教区  
共催 日本カトリック正義と平和協議会



### 分科会・特別プログラムに参加したい!!

分科会や特別プログラムが決定したら、  
教区ホームページや書面で後日  
ご案内します。  
関心のある分科会をみつけたら、  
お申し込みください。  
なお、分科会はいくつかの会場で行いま  
す。場所も合わせてご確認ください。

### 分科会をやってみたい!!

いろんな企画があると面白いですね。  
講演、映画上映会、スタディーツアー、  
ディベート、パネルディスカッション、  
ワークショップ、劇……などなど。  
やってみたいけど、どのようにしたら  
いいかわからないという方は一緒に考えま  
しょう! <申し込みは5月20日まで>



申込など詳しくはJP大阪大会事務局ページをご覧ください。  
[http://www.osaka.atholic.jp/no\\_side/jptaikai2021.html](http://www.osaka.atholic.jp/no_side/jptaikai2021.html)



カトリック大阪大司教区 社会活動センター シナピス  
Tel 06-6942-1784 Fax 06-6920-2203  
URL: <https://sinapis.osaka.catholic.jp/>

「点訳版」「音訳」  
ご希望の方はシナピスまで  
お申込み下さい。

# 子どもたちに 伝えたい平和



小学校教員 井上もも華

平和と聞くと、何か壮大なことを考えなくてはならない、なんだか綺麗ごとかもしれないと思ってしまう自分がある。そのため、今回この話をいただいた時、平和を子どもたちに伝えられるほど私自身の考えもまとまっていなかった。

しかし、私が生きてきた 22 年間を考えると平和だったと思う。食べ物があり、家があり、自分のやりたいことを自由にできる環境にあったからだ。22 年間、食に困ることも、やりたいと思った習い事ができないこともなかった。私のやりたいことや学びたいことは自分で選択ができた。また、それをやっていくにあたり、支えてくれる人もまわりにたくさんいた。これも暮らしとしてはとても平和な暮らしになるのではないだろうか。まずは、そういった些細なことを伝えられる人でありたいと私は考えている。

さらに、私は子どもたちに平和を伝えていくにあたり私自身もだが、社会について知ること、日本の歴史、世界の歴史を少しでも多く知ること、知ろうとすることが大切であると考えている。私自身は大学 3 回生の夏に縁があり南京に行った。侵華日軍南京大屠殺遇難同胞記念館を実際にみたことはとても印象に残っている。今までに社会の授業などで南京大虐殺という言葉は何度も聞いてきたが、「日本人がひどいことをしたこと」「戦争はとても大変だ」という認識はあった。しかし、自分の中では現実味がなかなかない話という感覚がどこかあった。実際に記念館に行き、自分の目で実際に見たことで、戦争の怖さ、戦争は何の解決にもならない、人を傷つけるだけという当たり前、みんなが考えればすぐわかるようなことだが、改めて強く感じる事ができた。

また、私は小さい頃から両親に連れられ、「火垂るの墓」の舞台になった神戸市や西宮市をまわるツアーに参加したり、戦争と平和に関する映画を一緒に見たりしてきた。そのため、昔から少しは戦争ということに向き合ったり、考えたりする機会があった。しかし中学生や高校生の時期に、友達と戦争の話をする機会はなく、授業でも用語を覚えるのが必死で、それがどうい時代背景で起こったことなのか知るところまでおいついていなかった。

平和とは戦争がないこと、争い事がないこと、それはもちろんだ。そのために、歴史を知ろうとすること、少しでも社会のことについて目を向け、誰かと話ができる環境ができることが平和へつながるということを子どもたちに伝えたい。

私は 4 月から小学校の先生として社会に出る身となった。

今の暮らしを守るために、もっと豊かにするために、できることが何か一緒に考えられる社会、教育にできるように努めていきたい。

## 障がい者委員会より

コロナ禍の中、人工透析をしている知人が救急車で運ばれICUに入りました。家族も面会できない、差し入れも何もできない。本人も、家族も本当に不安な毎日を送っていました。一般病棟に入っても、面会も差し入れも何もできないことは、続いています。知人家族に、寄り添いながら、自分の無力さを、痛烈に感じています。それを支えてくれるのが「祈ること」です。「祈り」は勇気と力を与えてくれます。何もできなくても、「祈る」ことはできるのです。

障がい者委員会委員の宮永さんが、コロナ禍が拡大しつつある中での入院体験をつづってくださいました。



## コロナ禍で、小さな私たちにできる大きな力



教区障がい者委員会 宮永久人

私事だが、昨年2月のある日、慢性的な病で倒れ、救急搬送されて半年あまり入院していた。無理な手術を回避し、車椅子に乗れるようになること、iPadをタッチペンで入力できるようになることを作業療法の目標にしたリハビリを受けて退院し、今はヘルパーたちの手を借りて在宅生活を送っている。

入院中に外でコロナ禍が広がり、どこの病院・施設でも面会が制限された。手が動かずiPadの入力もままならなくなり、外部とのコミュニケーションが途絶してしまった。また、マスクの装着が常識となり、聴覚障害がある私には読唇が難しくなってしまった。これらのことが精神的にもっとも辛いことだった。コロナ禍はいのちのみならず、人間の絆をも断ち切ってしまうことを実感している。

この間救われたことを神に感謝し、回復を祈りつつ、コロナ禍の感染拡大を見つめながら思い至ったことは、人間も生物であり、病から癒されたいという希求を持っているということである。現今のコロナ禍のもとで、キリスト教世界ではメシアニズム（救世主待望）の祈りが鳴り響いているように感じていた。「主よ、癒しに来てください」――それは私自身の祈りでもあった。

今の典礼暦B年に読まれているマルコ福音書は、主が病を癒す力を持ったメシア・神の子であることを強調している。このことは当時、旧約のもとで、病そして障害のゆえに差別され、社会の最底辺に置かれていた人々の、病を癒されて社会へ復帰したいという希求の象徴的な表現でもある。

この治療への希求は極端に走れば、病の結果としての障害の治療への希求となり、障害を排除すべきものとする障害の医学モデル、ひいては優生思想につながってしまう。医学の進歩により、かつて治療できなかった病気が治るようになっていく。他方で出生前診断により、障害があるとわかった胎児は、ほとんどが中絶されてしまう。また、人工内耳の強制的な装着はろう文化（ろう者の手話言語を核にした行動様式）に対する聴者の拒絶に根ざしている。治療の可能性を否定することなく医学モデルを超えるためには、障害者が生きやすい社会の構築を目指す社会モデルの思想の普及と、それに基づく施策の充実が必要になる。障害の福音モデルを構築するに際しては、主の癒しの奇跡への信仰に立脚しつつ、医学を一つの手段として生命倫理をふまえて使いながら、社会の共同体性を強調すべきである。

人間の生物としての寿命は最長125年であるという。おそらく医学がどれほど進歩しても死という限界を乗り越えることは不可能であろう。人間もあらゆる生物と同様に、いのちをつなぐために生き、その中で関わり合い、愛し合い、助け合っている。フランシスコ教皇が先進国と発展途上国、あるいは各国の国民間の格差により、コロナ禍への対応に差が出ていることを踏まえ、この人類共通のパンデミックの受苦を通して、人類が一つに結ばれますように、と祈られたことを忘れない。



この全国集会は2000人規模の参加者が集う大イベントです。大阪では2008年に開催以来、13年目の今年、教区の私たちが再びホストとなって開催します。大阪教区のみならず、全国の人たちと交わることができるチャンスです。



どんな大会ですか?

先月号でも案内しましたが、今大会は分科会をメインにしたプログラムを計画しています。大会のテーマ“すべてのいのちを守ろう”は一昨年の教皇訪日のテーマとつながります。「父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせる」(マタイ5・45)。

私たちはみんな天の父である神に愛された子どもです。神の家族として、誰一人ないがしろにされてはなりません。このような視点で大会を準備していきましょう。分科会は、大会テーマに沿ったさまざまな分野から問題提起し、参加者と一緒に考え、深めていきます。



「正義と平和」って、とても固くて難しそう。すぐになにか行動を起こさなければいけないように感じちゃう。



「私は何もしていない、できていない」といった声を聞くことがありますが、そんなことはないはずです。決して特別な人の、特別な活動ではありません。

なぜなら大阪教区の私たちは、阪神淡路大震災を経験し、「交わり証しする教会、谷間に置かれた人々とともに生きる教会」として新生計画を打ち出し、長年、その精神のもとそれぞれができることを実践し、考えてきてたからです。

ほら見てください。このとおり。一人ひとり自分にできているじゃないですか。この正義と平和の大会は、それを分かち合うひとつの機会です。



わあ、いろいろやっているんだね!

### 取り組む

お年寄りの話に耳を傾ける

炊き出しに参加する

支援が必要な人のために  
募金や物資を集める

病者のために働く

憲法を守る

被災地に物資を送る

犯罪被害者に寄り添う

冤罪を考える

軍事基地について考える



誰かのために祈る

難民移住者の支援をする

子どもの権利を守る教育を

子ども食堂・お年寄り食堂を開く

貧困について考える

戦争と平和について考える

権利について考える

## どうしたらいい？

差別  
福祉・健康 放射能のこと  
格差・不平等  
過重労働のこと  
人権侵害 自死 核廃絶  
コロナ禍 虐待  
ハラスメント  
病気になったら、年をとったら  
環境破壊を食い止めるには



## なぜ？

子どもの貧困がふえているのか  
野宿をせざるを得ないのか  
ヘイトスピーチをするんだらう  
いのちを脅かすものがこんなにたくさんあるんだらう  
女性だからっていろいろ言われるの？  
孤独なお年寄りが多いのか



## 前回の名古屋大会 2018

前回は行われた2018年名古屋大会は「共に生きる地球家族—今問われる私たちの選び、私の決意—」をテーマに開催されました。2泊3日で行われてきた大会も、この名古屋では1泊2日とコンパクトでしたが、全体会、懇親会、16の分科会と内容の濃いものでした。また、多くの青年たちが参加し、大活躍したことも大きな特徴でした。



## ▶▶ みんなで参加しよう！

### 分科会をやってみたい!!

いろんな企画があると面白いですね。講演、映画上映会、スタディーツアー、ディベート、パネルディスカッション、ワークショップ、劇……などなど。やってみたいけど、どのようにしたらいいかわからないという方は一緒に考えましょう！  
《申込みメ切は5月20日まで》



### 分科会・特別プログラムに参加したい!!

分科会や特別プログラムが決定したら、教区ホームページや書面で後日ご案内します。関心のある分科会をみつけたら、お申し込みください。なお、分科会はいくつかの会場で行います。場所も合わせてご確認ください。



第41回日本カトリック正義と平和全国集会  
2021大阪大会

# すべてのいのちを守ろう

～誰も置き去りにしない世界に向けて  
No one will be left behind

2021年  
11月22日(月)・23日(火・祝)

会場 大阪カテドラル聖マリア大聖堂 他

主催 カトリック大阪大司教区  
共催 日本カトリック正義と平和協議会

カトリック正義と平和 大阪大会事務局  
TEL 06-6942-1784 FAX 06-6953-2283 Email: osaka@jptaikai.jp



申込など詳しくは JP 大阪大会事務局ページをご覧ください。  
[http://www.osaka.catholic.jp/no\\_side/jptaikai2021.html](http://www.osaka.catholic.jp/no_side/jptaikai2021.html)  
☎ 06-6942-1784



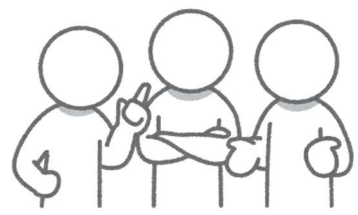
# 「エコロジカルな回心」とは？

## ワクチンを早く！それはそうだけれど・・・

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まりました。ワクチンをめぐっては、世界中で資金と技術力がある国が買い占めてしまい、医療体制が整っていない貧しい国が置き去りにされていくのではないかと心配がありました。そのため、昨年9月、世界保健機関（WHO）などが「COVAX（コバックス）ファシリティー」という仕組みを作りました。日本を含む180ヶ国以上が資金を出し、開発されたワクチンを確保するとともに、途上国にも配布する制度です。しかし、まだうまく機能していないようで、現在のCOVAXの接種目標は全人口の2割。先進国が世界のワクチンの75%を使用しているのが現実です。

COVAXの制度は、もちろんないよりは絶対にいいと思うけれど、それでも解消されない不平等があるんだ。私は先進国に住んでいてよかった、という話ではないような気がする。

この間、国連で、紛争下にあるとワクチンの接種が妨げられるから、停戦を求める決議が全会一致で採択されたと新聞に出ていたよ。  
でも、紛争に限らず、ワクチンが不足したときに、難民や声を上げにくい人々が接種対象から外れる危険性が絶えずあるんだって。



紛争下の人々や難民など、いつも置き去りにされていく人が、今回も切り捨てられる可能性があるということだね。  
いのちに値段がつけられていくようなこの現状を、やはり見過ごしてはいけないと思う。

教皇フランシスコは、年頭の「世界平和の日のメッセージ」で、2020年は世界的に新型コロナウイルス感染症による重大な健康危機にあり、それが気候、食糧、経済、移住など相互に密接に結びついた危機をいっそう深刻化させ、極度の苦痛と困難を引き起こしていると述べています。そして、政治指導者と民間企業に対し、病者と極めて弱く貧しい人すべてを支えるために、ワクチンと必要不可欠な技術を確認するために適切な措置を講じるよう求めています。



投稿より

### 「あなたにとって、『すべてのいのちを守る』とは？」

マザーテレサがなさっていたこと・・・。

死にゆく人に「あなたの宗教は何ですか？」と聞かれ、その方が安心して死んでいける様に「神はあなたを愛しておられますよ」と語りかけ、その宗教で葬儀を出された。私は、「キリストが流されたあがないの御血は全人類の上に降り注いだ」と信じます。ゆえに主において私たちは兄弟、姉妹であり隔ての壁はなくなる。それは聖霊の働きとします。貧しさに苦しむ人、差別を受けている人たちに目を向け互いに助け合わないといけないのです。

(Y・Kさん)



ワクチンを他国が確保したと聞いた時、日本も早く！と気が早く自分がありました。その裏には深刻な不平等があること、自分は持てる側にいることに気がつく前に。

でも、周りを見回してみると、普段共に過ごしている難民・移住者だって住民票がないので接種できるかどうかかわからず不安な思いでいるはず。

誰も置き去りにしない社会にするために自分のできることを、今一度考えさせられました。



みなさんがご存じのことを教えてください

## たとえばこんなこと

1. 環境のためにしていること、昔から言い伝えられている知恵

2. あなたにとって、「すべてのいのちを守る」とは？

☆お名前またはニックネーム \_\_\_\_\_

☆連絡先（メールアドレスや電話番号など）

☆投稿方法 FAX : 06-6920-2203 / メール : [sinapis@osaka.catholic.jp](mailto:sinapis@osaka.catholic.jp)

QR コード\*

\*QRコードの読み込みには、スマートフォンなどでQRコードリーダーをダウンロード  
することが必要です。







# みんなの けいじばん



## シナピス研修会の報告



シナピス映像カフェ  
～海を越えてつながるいのち～  
「海女のリャンさん」上映会



3月21日(日)の昼下がり、大阪市に住む一人の在日コリアンの女性とその家族にかかわるドキュメンタリーをオンラインで上映し、感想などを分かち合いました。この企画は、教皇フランシスコが再三無関心、対立、排除とたたかい、すべての人間の価値と尊厳が守られる社会を作る責務が私たちにあることを呼びかけていることに応え、大阪発の共生のあり方を暮らしの歴史から見つめ直そうとしたものです。

＜参加者アンケートより＞

- ・リャンさんの生き方に心を打たれました。
- ・リャンさん個人の生き様を見つつ、歴史の過酷さを想いました。
- ・想像を超える壮絶な生き方にもう啞然としてしまいました。
- ・「離散家族」という言葉の重さを初めて感じました。今までは、個人の人生にもたらす数々の困難や不条理を結び付けて考える想像力がありませんでした。

シナピス入管法セミナー

ちょっと待った！入管法改定  
～外国人が暮らしにくい社会は、  
日本人も暮らしにくい～



3月27日(土)に、入管法改定にかかわるオンラインセミナーを実施しました。今国会に提出されている入管法改定案には、強制送還拒否罪という刑罰が盛り込まれています。何度申請しても難民として認めてもらえない人など本国に帰れない事情がある人が、強制送還を拒否し続けたら刑罰を受け、またその人を助ける支援者も罪に問われるというものです。セミナーでは入管法改定案の内容を参加者と共有したあと、難民申請中の青年からの、帰ったら命が危ないので助けてほしいという訴えを聞きました。

＜参加者アンケートより＞

- ・法律改定反対はもちろんのこと、人として、同じ人間同士、何を大切にして生きるべきなのかということが良くわかり、難民問題を超越して人間としてどう生きるかに気づかされたセミナーでした。
- ・難民申請中の青年の「みんなに迷惑をかけて申し訳ない」の言葉に胸が詰まりました。



## シナピスの活動が朝日放送キャストで紹介されました。



「日本にいる“居場所がない”外国人たちが問いかけるもの」  
【アスマライ プロジェクト】

人間の命は遊びじゃない 私たちは人間だよ

YouTube からご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=w0uRWYJk3ic>

## 食糧支援のお願い

コロナ危機で仕事を失った移住者、技能実習生などの相談が増えています。パスタ、パスタソース、インスタントラーメン、インスタントスープ、米、缶詰、調味料、賞味期限の長いパンなど、日持ちのする食べ物のご支援をお願いします。

詳しくは下記までご連絡ください。



掲示板には、メール、FAX、または右のQRコードからご投稿ください。

☆電話番号：06-6942-1784 ☆FAX番号：06-6920-2203

☆メール：sinapis@osaka.catholic.jp



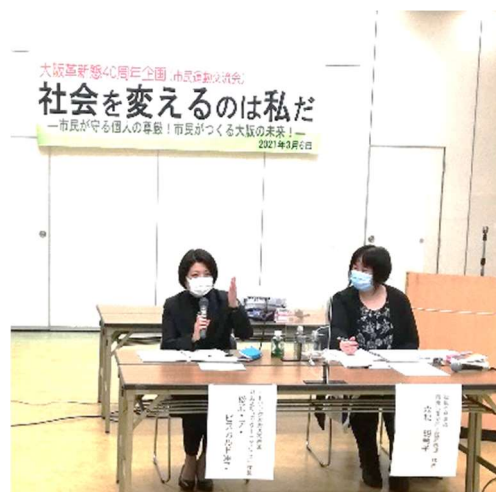
## 「社会を変えるのは私たちだ」

阿倍野教会 野村英隆

東日本大震災から10年、コロナ禍から2年、今後ますます進むかもしれない地球規模の気候変動など私たちを取り囲む現代の困難・問題・課題に対して様々の分野で多くの団体や市民が闘っています。

去る3月6日、進歩と革新をめざす大阪の会(大阪革新懇)主催の「社会を変えるのは私だ」をテーマとする市民運動交流会が開催されました。報告者は、「シナピス」のビスカルド篤子さん、「福島原発事故・原発賠償関西訴訟原告団」の森松明希子さん、「こども食堂ネットワーク関西」の川辺康子さん、「気候変動対策の強化を求める大阪の若者アクション」の小林誠道さんの4名と関西学院大学教授(副学長)富田宏治さんがまとめ役を担当されました。

ビスカルド篤子さんは「シナピス」の活動分野を紹介した後、直近の緊急課題として今国会に提出されている入国管理法の改定法案の内容を説明、「これは難民・移民を排除するものだ」と批判、現実には「シナピス」が支援している難民の人たちの状況も触れつつ、「移民・難民の排除ではなく共生を」「国民とともに移民・難民も住みやすい日本の実現を」を強調され、共感しました。他の三人も「原発事故は史上最大・最悪の人権侵害だ」(森松さん)、「日本の将来を担う子供たちは安全・安心な場所と食事が大切だ」(川辺さん)、「気候変動は人間社会が作ったシステム、システムを変えよう」(小林さん)と多くの具体例を紹介しつつ報告されました。特に大学生の小林さんの報告は、フランスコ教皇が回勅『ラウダート・シ』で述べられている「産業革命後の人類の経済活動が気候変動だけでなく、土壌汚染・海洋汚染・森林伐採・大洪水・干ばつをもたらせている。地球を含め『すべての命を守ろう』と重なりました。最後に、富田さんは「紹介された問題に共通するのは人間・個人の尊厳にかかわっています。情報を共有して、横につながることが大切です」とまとめられ、「全くその通り。社会を変えるのは私たちなのだ」と感概を覚えました。



私はこの集会に参加して、「カトリック大阪教区南地区社会活動委員会の野宿者支援活動も今日の報告と共通しているな」と思いました。私は定年後、23年前に洗礼を受けました。当時、リーマンショック後の大不況のさなかで、大阪だけでも1万人近い野宿者が各地にテント生活を強いられる状況でした。池長大司教が信徒に呼びかけられていた「新生運動」の「社会の谷間の置かれている人たちとの連帯・支援を強めよう」に共感し、個人的に釜ヶ崎の野宿者支援炊き出しの手伝いに参加していました。

2005年夏から大阪教区南地区社会活動委員会の釜ヶ崎野宿者支援活動が始まりました。玉造・なみはや・阿倍野・河内・堺ブロックの毎月持ち回り幹事制で毎月5万円(夏祭り・越冬闘争時は2倍)相当額の食品・調味料・資材など木津卸売市場での購入、毎回数名の配食ボランティアの派遣です。配食ボランティアは他団体の協力も始まり、任意参加になりましたが、数名の常勤的な仲間も生まれました。

2009年明け早々、池長大司教を含む全国8名の司教団による釜ヶ崎研修がおこなわれました。三角公園の炊き出しを早朝5時の準備段階から配食風景を見学、試食もしていただきました。日頃、神父さんから説教を聞く立場の者が、逆に司教さんたちに高いところから説明したことは生涯忘れられない経験でした。翌週のカトリック新聞でこの模様が一面で報告され、その後司教協議会は「2009年のちを守るための緊急アピール」を発表し、野宿者支援を呼びかけられました。

この活動が始まって16年。この間に1000万円以上の現物協力、約200名の実参加者、おそらく数倍の協力者がこの活動を支えています。現在はコロナ禍で中断していますが、また再開されるでしょう。

今回の市民運動交流会に参加して、あらためて「社会を変えるのは私たちだ」と考えさせられた気持ちを表明する次第です。

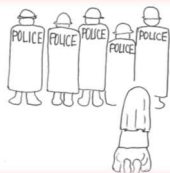
## ミャンマーの人々の いのちを守ってください



ミャンマーで国軍が起こしたクーデターに対し、市民が粘り強く抗議活動を続けています。しかし国軍の弾圧は日ごとに強硬になり、容赦ない暴力が振るわれ、死者は500人を超え、その中には子どもも含まれています。

ミャンマーには400を超える日本企業が進出しており、大きな影響力を持っています。茂木外相は暴力の停止を求めましたが、政府は更に市民への暴力をやめるようミャンマー政府に強く働きかけてほしいと思います。私たちも海の向こうの出来事に手をこまねくのではなく、小さくても

何かできることをしたいと考え、政府とミャンマー大使館に葉書を送ることにしました。ご賛同いただき同封の葉書をお使いいただければ幸いです。



### 活動へのご支援ご協力 よろしくお願いたします。

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス

難民移住移動者支援もよろしくお願いたします。

### シングルベッド提供のお願い

長身用2mサイズのもの求む！！

簡易ベッドや分解可能なもの

(狭いワンルームで難民男性が使用します。)

お電話をお待ちしています！！

☎06-6942-1784



◆ HP はただいまリニューアル作業中です。  
再開まで今しばらくお待ちください。

あとがき

主のご復活をお喜び申し上げます。コロナウイルスの感染拡大は今も止まることなく続いています。一日も早い終息を願います。

今年度は正義と平和協議会全国集会大阪大会がおこなわれます。シナピスニュースの年間テーマもそれに合わせて「すべてのいのちを守ろう 誰も置き去りにしない世界に向けて No one will be left behind」といたしました。神から与えられたいのちが脅かされている現実、私たち一人ひとりが関わっているこのいのちの危機に向き合い、誰も排除しない、されない世界をめざすために知恵を出し合ひましょう。教区で行われるおこな行事、「平和旬間」、「International day」、「いのちを守る月間」でも教区全体でこのテーマを意識して取り組み、皆さまといっしょに学び、考え、祈る機会を作っていきたいと思ひます。また、読者の皆さまも、経験したこと、ふとした疑問や気になっていること、取り組んでみたいこと、アイデアなどを是非、このニュースをつかって分かち合ってください。メールでもはがきでも一筆箋でも、SNSでも、直接お越しいただいても、WELCOME！！ (H)

## ▽▲▽ シナピスの主な活動 ▽▲▽

### ◆ 広報活動

- ・ 教皇メッセージ、司教団メッセージ等社会活動の指針の伝達
- ・ 読者と教会内外の社会活動をつなぐ機関誌としてシナピスニュースを発行

### ◆ 大阪教区・社会活動委員会との連携

### ◆ 学習会研修会の企画

### ◆ こども基金

世界・日本のこどもたちへの援助

### ◆ カトリック中央協議会との連携

正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、カリタス、部落差別人権委員会に委員を派遣

### ◆ 人権教育の講師を務めるなど教育機関への働きかけ

### ◆ 難民移住移動者支援

難民移住移動者の暮らしやすい社会を目指して

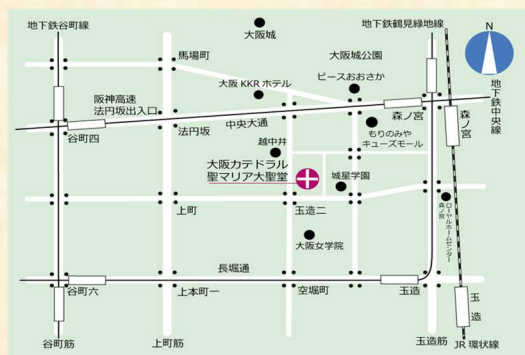
難民移住移動者 相談ダイヤル

☎ 06-6941-4999

### アクセス

〒540-0004 大阪市中央区玉造 2-24-22

カトリック大阪大司教区事務局内



### 公共交通機関ご利用の場合

- JR 森ノ宮駅より 約 1000m
- 地下鉄中央線森ノ宮 2 番出口より 約 800m
- JR 玉造駅より 約 1000m
- 地下鉄鶴見緑地線玉造 1 番出口より 約 800m

### 車でのお越しの場合

- 阪神高速 1 3 号東大阪線法円坂出口
- 法円坂交差点南へ上町を東へ

活動へのご支援ご協力をおねがいたします

郵便振替 00960-7-61419

加入者名 カトリック大阪大司教区シナピス



# 忘れない＊あきらめないカレンダー



どんな状況下でも、忘れず、あきらめず、希望をもって歩む皆さまに、情報を配信します。

## 2021年4月の案内

★印 カトリック関係

### 2021年 祈禱の信徒 祈りの意向 4月

#### 世界共通の意向： 基本的権利

独裁体制、権威主義体制、さらには危機にある民主主義体制のもとで、いのちの危険にさらされながら基本的権利のために戦う人々のために祈りましょう。

#### 日本の教会の意向： 平等な社会を目指して

あらゆる差別が撤廃され、人権が尊重される社会を築くことができますように。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止される場合があります。事前に各主催者へお問い合わせください。

2	金	世界自閉症啓発デー
4	日	地雷に関する啓発および地雷除去支援のための国際デー
5	月	良心の国際デー
6	火	開発と平和のためのスポーツの国際デー
7	水	(1994年の) ルワンダにおけるジェノサイドを考える国際デー 世界保健デー
10	土	●広域一元化条例いらん! 4・10御堂筋デモ ■場所:新阿波座公園 集会14時～ デモ出発 14時40分 主催:戦争あかん!ロックアクション有志 ブログ「戦争あかん!ロックアクションー戦争法・秘密法廃止!」 Facebookグループ「戦争あかん!街かどプロジェクト」 Facebookページ「戦争法・秘密法廃止!集会・デモ情報」
11	日	●吃音の集いin和歌山 ■オンライン開催 14時～16時 特別講演:「子どもの吃音と大人の吃音～対処のヒント～」 講師:小林宏明さん(金沢大学人間社会研究域学校教育系教授) 主催:和歌山言友会 申込mail:wakayamagenyukai@gmail.com
14	水	シャーガス病の世界デー
15	木	●『白バス』逆転勝利判決を世論に! 労働組合つぶしの大弾圧を許さない 裁判所包囲 ぐるぐる☆デモ ■場所:中之島水上ステージ 16時半～ 集会 17時～ デモ出発 主催:労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会 連絡先:全港湾関西地方大阪支部気付 TEL06-6575-3131
16	金	●「戦争法」違憲訴訟控訴審判決 ■場所:大阪高裁202号大法廷 14時～判決言い渡し(予定) 記者会見(予定) 主催:「戦争法」違憲訴訟の会 mail:info@ikensosyo.org
17	土	●釜ヶ崎講座学習会「ハンセン病問題から何を学ぶか 第2弾!」 ■場所:太子福祉館 18時半～21時 話題提供者:黄光男(ファン グァンナム)さん(ハンセン病家族注要原告団副団長) ビデオ上映「邑久光明園」 資料代500円 当日YouTubeライブ配信予定(要連絡) 資料代:500円 主催:釜ヶ崎講座 TEL090-2063-7704 mail:kamakouza@cwo2.bai.ne.jp HP:http://cwoweb2.bai.ne.jp/kamakouza
18	日	★入管法セミナー「入管法改正案と日本の難民認定制度を考える 難民と外国人の排除・送還にNo!」 ■13時～15時(ZOOM) 日本の難民・非正規滞在者の状況・入管法改定についてお話:山岸素子さん(日本カトリック難民移住移動者委員会委員) ビデオ「駒井弁護士」の講演『改定入管法案の背景・内容』視聴 当事者からの証言:デニズさん(クルド人難民) 質疑応答 まとめ・具体的なアクションにつなげるために 申込・問合せ:jcarm@cbcj.catholic.jp 締め切り4月12日 後日URLを送付 一台のPCで数名ご参加の場合、おおよその人数を連絡下さい 主催:大阪大司教区南地区宣教評議会  ●4・18検証シンポジウム 第2弾「関西生コン事件を考える」 ■場所:大阪・PLP会館 13時～17時 主催:関西生コンを支援する会  ●命どう宝!知ろう!感じよう! 沖縄のこころ ■場所:サンシビック尼崎内 中央南生涯学習プラザ大ホール 開場13時半 開演14時 踊りと歌:「月桃の花」歌舞団 市民報告:田場 典篤さん(沖縄物産企業連合) 講演:「辺野古の今～沖縄の運動と関西の連帯～」 講師:糸数慶子さん(参議院議員) 参加費:500円(大学生以下無料) 定員:250名 主催:「命どう宝!知ろう!感じよう! 沖縄のこころ」実行委員会 連絡先TEL090-3872-0546(久米) 090-8578-4494(谷)
21	水	創造性とイノベーションの世界デー
22	木	国際マザーアース・デー
23	金	世界図書・著作権デー 女兒とICTの国際デー
24	土	マルチラテラリズムと平和のための外交の国際デー  ●「憲法9条の会・関西」学習会 「首政権に継承された改憲の動き」 ■場所:摂津市コミュニティプラザ3階 13時半開場 開始14時～ 講師:高作正博さん(関西大学法学部教授) 資料代:800円(学生500円) 主催:「憲法9条の会・関西」 HP:https://9jo-kansaijimdofree.com mail:kenpo9kansai@gmail.com
25	日	●憲法講演会「日本学術会議『任命拒否』を問う」 ■場所:PLP会館5F大集会室 13時半開場 14時開会 講師:松宮孝明さん(立命館大学法務研究科教授) 資料代:800円 学生半額・介助者無料 主催:とめよう改憲!おおさかネットワーク 連絡先TEL06-6364-0123  ●関西新空港反対!泉州現地集会 ■場所:泉南市岡田浦浜 13時15分 主催:泉州沖に空港を作らせない住民連絡会
26	月	国際チェルノブイリ災害想起デー
28	水	職場での安全と健康のための世界デー
30	金	国際ジャズ・デー